

メルシーますみ 五月  
「ネモフィラ」コンサート

(オカリナ演奏)

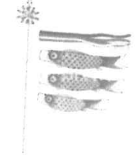
① レモン



こいのぼり (昭和六年)

作詞・近藤宮子 作曲・不詳

やねよりたかい こいのぼり  
おおきいまごいは おとうさん  
ちいさいひごいは こどもたち  
おもしろそうに およいでる



やねよりたかい こいのぼり  
おおきいまごいは おかあさん  
ちいさいまごいは こどもたち  
おもしろそうに およいでる

せいぐらべ (大正八年)

作詞・海野厚 作曲者・中山晋平

柱(はしら)のきずは おとしの  
五月五日の 背くらべ

粽(ちまき)たべたべ 兄さんが  
計(はか)つてくれた 背のたけ  
きのうくらべりや 何(なん)のこと

やつと羽織(はおり)の 紐(ひも)のたけ



みかんの花咲く丘 (昭和二十一年)

歌・川田正子 作詞・加藤省吾 作曲・海沼実

みかんの花が 咲いている  
思い出の道 丘の道  
はるかに見える 青い海  
お船がとおく 霞(かす)んでる



黒い煙(けむり)を はきながら  
お船はどこへ 行くのでしよう  
波に揺(ゆ)られて 島のかけ  
汽笛(かき)がぼうと 鳴りました

この広い野原いっぱい (昭和四十二年)

歌・作曲 森山良子 作詞・小蘭江圭子

この広い野原いっぱい 咲く花を  
ひとつ残らず あなたにあげる  
赤いリボンの 花束にして



この広い夜空いっぱい 咲く星を  
ひとつ残らず あなたにあげる  
虹(にじ)にかがやく ガラスにつめて

愛燦燦 (昭和六十一年) 歌・美空ひばり

作詞・作曲 小椋佳

雨 漕漕(さんさん)と この身に落ちて

わずかばかりの運の悪さを  
恨(うら)んだりして

人は哀しい 哀しいものです  
それでも過去達は

優しく睫毛(まつげ)に憩(い)こう  
人生(じんせい)つて 不思議なものです

風 散散(さんさん)と この身に荒れて

思いどおりにならない夢を  
失(なく)したりして

人はかよわい かよわいものです  
それでも未来達は

人待ち顔(ひとまちがほ)して微笑(ほほえむ)  
人生(じんせい)つて 嬉しいものです

故郷 (ふるさと) (大正三年)

作詞・高野辰之 作曲・岡野貞一

兔(うさぎ)追いし かの山

小鮒(こぶな)釣りし かの川  
夢(ゆめ)は今も めぐりて

忘れがたき 故郷(ふるさと)  
如何(いか)に在(い)ます 父母

恙(つつが)なしや 友(とも)がき  
雨(あめ)に風に つけても

思い出(おもいで)ずる 故郷(ふるさと)  
(最後二行 繰り返し)

